

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2009年3月16日 No 7 6
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町 4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

「核兵器のない世界を」賛同署名相次ぐ

第2次分

(敬称略)

岡山大学 千葉喬三 学長からも 近藤隆則 高梁市長

「世界唯一の被爆国の国民として、戦争や核兵器の悲惨さ、平和の尊さを全世界の人々に強く訴えていかなければなりません。」

岡山県原水協は、「核兵器のない世界を」署名県民20万筆をめざし運動を進めています。

署名推進のために事務局では2月下旬に県内の全自治体の首長・議長、病院院長、教育関係者、岡山空襲平和資料館開設呼びかけ人、岡山9条の会呼びかけ人合わせて165人に

「核兵器のない世界を」署名の賛同と、メッセージの依頼、名前の公表をお願いしました。

事務局には連日賛同の署名が届いています。3月15日現在36名になりました。(第2次分として発表します)

賛同いただいた方々とメッセージ

自治体関係者

*近藤隆則(高梁市長)「世界の恒久平和は私たち人類共通の願いです。しかし、まだ多くの核兵器がこの地球上に存在し、世界では依然として悲しむべき争いが絶えず生命の存在や環境に大きな脅威と不安をもたらしています。世界唯一の被爆国の国民として、戦争や核兵器の悲惨さ、平和の尊さを全世界の人々に強く訴えていかなければなりません。高梁市は、非核三原則の堅持とあらゆる核兵器の前面廃絶を願い、美しい自然と安全・安心で平和な都市を創造していくことを誓い、「非核平和都市」を宣言しています。

*西山宣治(鏡野町議長) *池田文治(真庭市議長) *宮本政幸(勝央町議長)「核兵器は持つてはいけない。戦争は絶対にしてはいけない。」

教育関係者

*千葉喬三(岡大学長) *小野弘忠(倉敷英数学院院長)

「平和を唱えるだけでなく、主張し行動しなければ手に入らない」

弁護士

奥津 亘(弁護士)「恐怖を克服する理性を持とう」

清水善朗(弁護士)「核兵器をなくすことは私たちの世代に課せられた宿題です。子や孫の代に引き継ぐことはできません。」

被爆者

平末 豊

(県被爆者会副会長・岡山市被爆者会会長)「私たち被爆者会も日本被団協総会の主旨に沿って活動をしてまいります。2010年の核不拡散条約の実行を求めて共にならばりましょう」

加百智津子

(被爆二世・おかやまコープ職員)「原爆ドームのすぐそばで被爆して体にも心にも深い傷を負った私の母も認知症のために、あれほどつらかった被爆体験を語れなくなってしまいました。私が母に代わって伝えていく役割を担います。地球上からすべての核兵器をなくすことが私の夢であり希望です。その日は必ず来ると信じて。」



前号で湯原淳良医師のコメントが欠落していました。『私たちの生ある間に核兵器をなくしたい一心です。』といただいています。



3月6・9行動をしました

2度目の

3月の6・9行動を3月16日におこないました。前回3月6日は直前まで降雨で参加者が少なかったため改

めて16日に実施しました。

16日の参加は県労会議、医労連、平和委員会、事務局から4名で実施、12時15分から13時まで岡山駅前で行ない、13筆の署名と111円の募金が寄せられました。春休みに入った高校生が積極的に署名してくれました。また韓国人の2人の女性が署名してくれました。